

愛知県地質調査業協会の活動報告

愛知県地質調査業協会 会長 大久保 卓

愛知県地質調査業協会は、今年度県内に本社を有する会社10社と県外に本社を有する会社16社で運営しています。又、令和5年12月に1社加入し合計27社となりました。以下に4つの主な活動について報告いたします。

1. 広報活動

一般社団法人中部地質調査業協会の依頼により、7月に愛知県内の建設事務所、港務所、農林水産事務所及び市町村へ「土と岩」、協会員名簿などの資料を配布する広報活動を実施した。

2. 研修活動

今年度は、愛知県の出先建設事務所にて3ヶ所の出前講習会を実施した。

令和5年10月24日(火)一宮建設事務所にて、建設事務所の技術職員と管内の市町の技術職員合計25名で実施。

令和5年12月20日(水)海部建設事務所にて、新人技術職員を主に合計20名で実施。

令和6年2月13日(火)西三河建設事務所にて、県の技術職員合計20名で実施。

■研修内容

「管内の地形、地質」

「地盤調査計画と調査内容」

「土質試験について」等

講師：愛知県地質調査業協会 大石 雅彦氏

尚、愛知県地質調査業協会では、特に地質調査業の必要性、重要性について県職員にアピールを行った。



写真-1 技術研修会の様子



写真-2 技術研修会の様子

3. 災害時応急支援活動

今年度は、6月に西三河、東三河、新城方面にて豪雨による災害60ヶ所強の出動要請を受け、会員各位の協力により全災害ヶ所の調査に取り組むことができた。又、令和5年8月24日(木)に防災訓練を実施し、98%の回答を得た。

4. 親睦を図る行事の実施

11月に協会主催の懇親ゴルフ大会を行った。参加者は14名であった。又、令和6年1月19日(金)に新年会を実施した。4年振りの開催で、27社41名の参加にて会員同士の親睦に活気溢れる集いであった。

5. その他

令和5年11月11日(土)に名古屋ガーデンふ頭臨海公園にて実施された、大規模津波訓練に当協会幹事2名が参加し、中部地質調査業協会の防災委員会の指示のもと展示ブースを開き協力させて頂いた。



写真-3 展示ブースの様子

岐阜県地質調査業協会の活動報告

岐阜県地質調査業協会 会長 大橋 大輔

岐阜県支部は、令和5年度の予算として約280万円に運営しています。役員構成は会長以下、副会長、総務委員長、広報委員長、技術委員長、防災対策委員長、取引適正化委員長の7名で、各役員の指揮の下全協会員17社が一体となって活動しております。

当支部の活動は、中部地質調査業協会ならびに愛知県支部、三重県支部、静岡県支部と連携を図りながら、下記の事業計画を定め実施しています。

- ・広報活動の実施
- ・会員の技術向上を目的とする研修活動
- ・会員相互の親睦を図る行事の実施
- ・関連学会、関連協会への協力と提携

本年度の活動について以下にご紹介します。

1 通常総会、県政報告会を開催しました。
岐阜県議会より松村議員、農政部より岡山農地防災対策室長、林政部より大島技術総括監、県土整備部より大橋建設技術企画監をお招きしました。

2 地質調査業の重要性と岐阜県支部の存在価値、認知度の向上を目指し、発注者への協会員名簿の配布・要望活動、建通新聞への広告掲載などの広報活動を実施しました。

3 (財)岐阜県建設研究センターが実施する「県・市町村建設技術職員研修」へ講師を派遣し、地質調査の概要とその結果の利活用、県内の地形地質の特徴、構造物基礎の地質調査方法などの研修活動を通じ職員の技術向上に寄与すると共に岐阜県支部の広報活動としても大きな成果を挙げています。



県・市町村建設技術職員研修

4 岐阜大学地域交流協力会および岐阜県社会基盤研究所等の研究発表会等へ参加し、地域の社会基盤整備に貢献しています。

5 岐阜県と災害応援協定を締結しており、災害時における災害状況の確認、二次災害の評価提言、地質に起因する原因究明、地質調査、緊急的な応急対策の提案等の支援体制を整えて対応しています。本年度は2件の要請があり、担当各社にて対応しました。

6 岐阜県県土整備部主催の災害応援協定連絡会議に出席しました。

7 岐阜県広域BCM認定を受け、県庁にて県土整備部長より認定証をいただきました。また、BCマネジメントサポートセンターの安藤様を招きBCMセミナーを開催しました。



岐阜県建設業広域BCM認定証授与式



BCMセミナー

近年多発する災害に対して、当支部の果たす役割は年々大きくなってきています。今後は岐阜県広域BCM認定を機に、官民一体となった迅速かつ確実に災害対応できる広域的な体制強化に寄与していきたいと思っております。

三重県地質調査業協会の活動報告

三重県地質調査業協会 会長 伊藤 重和

三重県地質調査業協会は昭和60年8月に会員数10社で設立され、38年目を迎えた現在、13社(本社会員4社、営業所会員9社)で運営されており、4つの主な事業活動に取り組んでいます。

1. 建設技術研修会(地質調査)

毎年、公益財団法人三重県建設技術センターが実施している建設技術研修『地質調査』に共催しています。

協会の技術委員会から講師を派遣し三重県の地質・地質調査の計画、室内土質試験についての講義を実施しており、令和5年度は6月に実際にボーリングマシンを稼働し現場研修及び土質試験実習を名古屋市守山区にある中部土質試験協同組合内で行いました。参加者は官公庁が主体となっていますが、一般の方からの参加も受け付けております。



中部土質試験協同組合内での研修会(令和5年6月)

2. 三重県関係及び市町への要望活動

広報委員会の主な活動で三重県庁、企業庁、三重県建設技術センター、三重県の各関係出先事務所、市役所等に挨拶状、協会員名簿、協会機関誌「土と岩」、全地連機関紙「地質と調査」等を配布し、協会のPR活動や意見交換を行っております。毎年実施している要望活動ですが、今年度は新型コロナウイルスの影響による制限も緩和され通常の活動ができました。

3. 地質巡検

技術委員会が企画する地質巡検を隔年で実施しており、令和5年度は協会発足以来、19回目の巡検を実施しました。今年度は福井県の東尋坊の巡検をメインとし、福井県立恐竜博物館にも行く予定でしたが、残念ながらリニューアル中であったことから一乗谷朝倉氏遺跡博物館に足を延ばしました。

東尋坊は、日本海に面した海食崖で険しい岩壁が約1

kmにわたり続き、最も高い場所で約25mの垂直の崖がある豪快な地形が特徴で、今から約1,300万年前の新生代第三紀中新世に起こった火山活動で、マグマが堆積岩中に貫入して冷え固まってできた火山岩で構成されています。日本海の波による浸食を受け現在のような岩場になっており、白色の斜長石の斑晶や暗緑色の普通輝石・紫蘇輝石の斑晶を含む輝石安山岩で、マグマが冷えて固まるときにできた五～六角形の柱状の割れ目(柱状節理)がよく発達しています。これほどの規模の輝石安山岩の柱状節理は世界にわずか三箇所しかなく、朝鮮半島の金剛山、スカンジナビア半島の西海岸と並び地質学的に大変貴重な場所であり、日本の地質百選の一つを巡検できました。



遊覧船から見た東尋坊の柱状節理

また一乗谷も戦国武将朝倉氏が東、西、南を山に囲われ、北に足羽川が流れる自然の地形を最大限活用し天然の要害を築いたとされ、地質学的にも興味深い場所として知られています。計画的に作られた城下町や一乗谷城等が一乗谷朝倉氏遺跡として点在しており、令和4年10月には博物館が新しく建造されました。その博物館の遺構展示室では博物館建設の事前発掘調査で見つかった石敷遺構を間近で見学できます。

4. 三重県からの災害支援協力要請への対応

三重県地質調査業協会では平成19年3月に三重県県土整備部との間で締結された『地震・津波・風水害等の緊急時における協定』により三重県内で地震・津波・風水害等の災害が発生した際、地盤等の被災状況調査を実施し復旧工法について技術的指導及び今後の対応方針についての助言を行っております。

令和5年度は6月2～3日に梅雨前線による集中豪雨で被災した伊勢建設事務所管内の法面復旧のため、現地調査、地質調査および技術的助言を実施しました。

これからも地質調査業のためのプロジェクトに取り組み、社会に必要とされる協会として努力してまいります。

以上、簡単ではございますが三重県地質調査業協会の令和5年度活動報告とさせていただきます。

静岡県地質調査業協会の活動報告

静岡県地質調査業協会 会長 松浦 好樹

静岡県協会は、現在15社全て県内業者で構成されております。令和5年度の年間スケジュールで大きなイベントとしては以下の通り行われました。

令和5年7月

地盤技術講習会

8月

静岡県交通基盤部との意見交換会

11月

国土交通省県内7事務所長、副所長との意見交換会
ジオフォーラム静岡 in 2023
土木の日イベント
下田市、静岡市で参加

会場：ペガサート6F (静岡市葵区御幸町3-21)

参加者：102名

■13:40~15:10

地震・豪雨による山地災害

静岡大学名誉教授 土屋 智

■15:20~16:20

地下水調査の方法と技術開発の現状

国立大学法人 岡山大学学術研究院

環境生命自然科学学域(工)教授 小松 満

■16:20~17:20

地盤情報の3次元化とその活用

中央開発株式会社 ソリューションセンター事業部
部長代理 大西 徹夫



イベントの様様 下田市の様子



静岡市の様子

静岡協会最大のイベントとして、ジオフォーラム、地盤技術講習会を開催しております。今年度その2つの行われたイベント内容をご紹介します。

地盤技術講習会

主催：(一社)静岡県地質調査業協会

後援：(一社)中部地質調査業協会

日時：令和5年7月28日(金)13:30~17:00

ジオフォーラム2023 in 静岡

主催：(一社)静岡県地質調査業協会

後援：(一社)中部地質調査業協会
(一社)建設業団体連合会

協賛：静岡県道路協会
全国治水砂防協会静岡支部

日時：令和5年11月10日(金)

会場：静岡ユーフォニア(静岡市葵区追手町1-10)

参加者：178名

